

株式会社ケアサポート・ワイン
地域連携推進会議(ハウス・ワイン日野)

ハウス・ワイン日野 地域連携推進会議 議事

1. 会議名

ハウス・ワイン日野 第1回 地域連携推進会議

2. 開催日時

令和7年12月23日（火） 9:30～11:30

3. 開催場所

ハウス・ワイン日野

4. 出席者

相談支援事業所 ふくし・生活の相談 and 上野 了様

医療機関 おおつき在宅クリニック 伊藤 賢司様

ハウス・ワイン日野 管理者 神田 真由美

ハウス・ワイン日野 サービス管理責任者 早坂 良平

株式会社ケアサポート・ワイン 村松 良記

5. 議題

- ①グループホームの運営状況報告
- ②利用者の支援状況および課題
- ③医療・福祉・地域との連携状況
- ④事故・トラブル・クレーム発生状況
- ⑤防災・防犯体制の確認
- ⑥その他意見交換

6. 議事内容

(1) 運営状況報告：村松より

日野ユニット 各拠点の基本情報

①ハウス・ワイン日野

開設日：令和3年1月1日

管理者：神田 真由美 サービス管理責任者：早坂 良平

指定通知番号：1323501310

※指定更新 2026年10月までに対応※

住所：〒191-0034 東京都日野市落川 583 サンハイム石坂 103号室

株式会社ケアサポート・ワイン
地域連携推進会議(ハウス・ワイン日野)

ハウス・ワイン多摩

開設日：令和 3 年 10 月 1 日

管理者：神田 真由美 サービス管理責任者：早坂 良平

指定通知番号：1323501310

住所：〒206-0001 東京都多摩市和田 2010-16 プリマベーラ 103 号室

ハウス・ワイン国立

開設日：令和 4 年 2 月 1 日

管理者：神田 真由美 サービス管理責任者：早坂 良平

住所：〒186-0013 東京都国立市青柳 2 丁目 6-11 グリーンハイム志村 2 号棟 103 号室

ハウス・ワイン日野式番館

開設日：令和 7 年 10 月 1 日

管理者：神田 真由美 サービス管理責任者：早坂 良平

住所：〒191-0034 東京都日野市落川 967-2 サンアベニュー増島 112 号室・212 号室

令和 7 年 12 月 23 日現在各拠点の稼働状況：

ハウス・ワイン日野：5 名 精神 5 名（区分 2：2 名 区分 3：3 名、）

退去者数：2 名（精神 区分 3/区分 4）

退去理由：一人暮らしのため、長期入院のため

ハウス・ワイン日野式番館：8 名 精神 7 名（区分 2：2 名 区分 3：5 名）

知的 1 名（区分：2）

退去者数：1 名（精神：区分 2）

退去理由：長期入院のため

ハウス・ワイン多摩：6 名 知的 1 名（区分 3） 精神 6 名（区分 2：5 名 区分 3：1 名）

退去者数 1 名（精神：区分 3）

退去理由：母親からの虐待疑惑に伴う避難処置

ハウス・ワイン国立：7 名 知的 2 名（区分 2：2 名） 精神 4 名（区分 2：2 名 区分 3：2 名）

退去者数：2 名 精神 1 名（区分 3） 知的 1 名（区分 2）

退去理由：精神 自宅に戻る 知的 無断外泊が改善しないため自宅に戻る

計 27 名

空室状況：3 室（ハウス・ワイン日野 2 室・ハウス・ワイン多摩 1 室）

※12 月 17 日現在日野本入居 1 名確定・体験利用中 1 名。多摩体験利用 1 名確定

株式会社ケアサポート・ワイン
地域連携推進会議(ハウス・ワイン日野)

【職員体制】

管理者 1 名

サービス管理責任者 : 1 名

常勤世話人 : 2 名

非常勤世話人 : 2 1 名

常勤生活支援員 : 1 名

非常勤生活支援員 : 2 名

【職員体制内訳】

【日野】

日勤 1 名 (クラークとして採用)

夕勤 3 名 (3/24 採用者含む)

【日野式番館】

日勤 2 名

夜勤 5 名

【多摩】

日勤 3 名

夜勤 5 名

【国立】

日勤 4 名

夜勤 4 名

職員体制その他

サービス管理責任者について 1 名 OJT 実施中

令和 8 年 4 月サービス管理責任者実践研修修了予定

直近の運営状況（生活支援、健康管理、日中活動状況）について報告（神田・早坂より）

【日野・式番館】(神田より)

日野は 11 月に利用者の退居があり、現在は体験入居の方の受け入れをしている。

ご利用者支援に関して、新たに、就労が決まっていなかった方の就労支援をする活動を行ない、就労をしていただいている。

就労内容：音楽活動をするバンドの機材の搬入や積み込み作業

就労条件：一般就労と同じ水準の給与支給、交通費支給有

支援内容：就労に関する就労先とのスケジュール調整、実績管理全般

回数を重ね、就労先から信頼を得て高い評価をいただき、音楽が好きなご本人もやりがいを感じながら安定した就労ができている

【多摩・国立】(早坂より)

多摩・国立のご利用者様に対する課題への取組みとして、当事業所では生活支援に重点を置いています。入居時にご本人が描いていた生活像にどの程度近づいているかを聞き取りにより確認し、実際の生活状況を踏まえながら、生活の維持・向上に努めています。

アパートタイプのグループホームに入居される方は比較的自立度が高い一方、家事が苦手な方もおり、継続的な面談の中で「やり方が分からぬ」「意欲が湧かない」といった本音が聞かれることがあります。その際には、居室状況に応じて支援期間や頻度を設定し、毎日30分、週3日30分など負担の少ない形で家事支援を提案しています。支援の過程では助言や振り返りを行い、主体的に取り組める環境づくりを行った結果、行動の変化が見られ、段階的に支援頻度を減らしながら継続的な生活改善につなげています。また、モーニングコール等を通じ、生活リズム形成の支援も行っています。

(2) 利用者支援の現状と課題

「ハウス・ワイン多摩で発生した投資詐欺被害について」(早坂より)

ハウス・ワイン多摩のご利用者様が、マッチングアプリで知り合った男性から仮想通貨投資を勧められ、投資詐欺の被害に遭う事案が発生しました。2025年10月に被害が発覚し、刑事事件として警察へ2度の被害届を提出しています。

被害者は女性で、LINEでのやり取りを重ねる中で相手に好意を抱き、合計約430万円を入金していました。警察からは、近年は身元特定が困難なSNSを利用した詐欺が増加しているとの説明を受けています。

1度目の被害届提出後も「騙されていないのではないか」との思いから再度入金していたことが判明し、2度目の被害届提出を通じてロマンス詐欺であったとご本人が認識し、現在はマッチングアプリの利用を中止しています。

(3) 医療機関との連携状況（村松より）

2025年よりおつき在宅クリニック様と医療連携体制を整えさせていただいた。

おつき在宅クリニック様は精神科・内科の訪問診療をされており、オンライン診療も対応してくださるために特に当ホームで通院が苦手な精神障害の方に対しての医療サービスがしやすくなつた。

あわせて調剤薬局との連携も図り、いつでもお薬を届けてくださるため、ホーム運営をしている我々としてもとても頼りになっている。

(4) 事故・トラブル・クレーム状況(村松・神田・早坂より)

【日野】

①ヒヤリハット件数と内容

3件 ①階段での転倒、②居室内で食器を割った ③薬の紛失（予備を飲んだため服薬漏れはなし）

②事故件数と内容

服薬漏れ 7件

株式会社ケアサポート・ワイン
地域連携推進会議(ハウス・ワイン日野)

【日野式番館】

①ヒヤリハット 1 件 利用者の挙動を見た通行人から通報をされた

②事故件数と内容

9 件 誤薬 3 件 服薬漏れ 6 件

【多摩】

①ヒヤリハット 1 件 (落薬未遂)

②事故件数 1 件 (投資詐欺被害)

【国立】

①ヒヤリハット 1 件 服薬確認の報告忘れ

②事故件数 0 件

(5) 地域との関係・周知活動

2025 年は特になし

(6) 防災・防犯体制の確認

BCP 計画に基づき社内訓練・研修を実施。その内容を各拠点で周知しております。

地震や火災等も速やかな対応ができるよう机上訓練・実働訓練を定期開催しております。

(7) ご参加者からのご意見・ご要望

相談支援事業所 ふくし・生活の相談 and 上野了様より

みなさんがかかえてらっしゃる課題が、計画相談の課題と同じだと感じた。

一つは携帯電話の問題で後払いでの大きな金額の請求がくるようなことが起きている。

制限するのではない解決方法というバランスが難しい。

拠点によって特色がある。早坂さんのところの利用者が深く関わる支援で人が変わっていた。

神田さんの拠点は利用者それぞれ課題がある方が多いがいつも対応していただいている。どちらの拠点もそれぞれ二人の特徴が出ていていいと思います。

いろんな GH で社員がきっちりしているが現場を回している方に問題なところも増えている。

人の管理の難しさというか、利用者と一対一になることが多い職場なので難しいだろうと思います。

就労の支援をしている件はすごいと思う。お給料のいい B 型に通うと利用者の状態がよくなるので就労のお金は大切だと思う。

ヒヤリハットについてはこの人からこう言わされたというような内容も、のちのち虐待につながるような事もあるのでそういう言葉の部分や対応の部分もヒヤリハットなのかなと考えていて大切なところだと思う。

医療機関より : おおつき在宅クリニック 伊藤賢司様より

本日はとても勉強になりました。志がいいと思っている。9月に厚生労働省から精神科医療の方針として入院病床を減らして地域移行という発表になったがハウス・ワインさんの取り組みが合っていると思いました。

株式会社ケアサポート・ワイン
地域連携推進会議(ハウス・ワイン日野)

しっかりとした大きな組織だと感じる。人材をどうするのかというのは、どこも同じような事で困っているんだなと思う。未資格者を雇用するというところは、医療機関も同じで、志がある人は伸びていくし、そうでない人は課題だと思う。未資格者を採用することはいい事なのでマニュアルなど整えて育成していく必要があるのだと思います。GH を医療の分野から支援をしていきたいと思います。

7. まとめ（村松より）

今後について、滞在型アパートタイプのグループホームは、現在の反響から見ても引き続き高いニーズがあると捉えています。今後も各行政機関と連携・相談を行いながら、計画的な新規拠点開設に向けて検討を進めていく方針です。

また、近年は障害者グループホームにおける支援の質の低下が課題として指摘されており、当事業所では本年よりeラーニングによる研修体制を整備しています。今後はこれに加え、特に虐待防止に関する研修を重点的に強化していく考えです。

さらに、自然災害の発生が増加している状況を踏まえ、多摩川に隣接する拠点が多い特性から、BCP計画に基づいた避難訓練等の防災対策も一層強化していきます。

当社は2023年に精神特化型訪問看護ステーション「ハートフル・ワイン」を開設しました。長期入院患者の地域移行を支える受け皿として、生活面・心身面の双方を支援できるアパートタイプ滞在型グループホームの必要性を感じたことが背景です。今後は、より精神に特化したグループホームの運営も視野に入れ、地域における質の高い社会資源の提供に努めてまいります。

次回会議は令和8年12月頃に開催予定

8. 閉会

10時45分、閉会

署名部分につきましては、参加者へ口頭で確認のうえ、こちらで入力しております。

事業所名	氏名
ふくし・生活の相談 and	上野 了様
おおつき在宅クリニック	伊藤 賢司様
株式会社ケアサポート・ワイン 取締役	村松 良記
ハウス・ワイン日野 管理者	神田 真由美
ハウス・ワイン日野 サービス管理責任者	早坂 良平